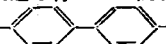


應を促進し得ない。後者の例としてベンゼン

NH_2 -- NH_2 では殆ど沃度分子の生成が不可能で2%しか反応を促進しない。之を要するに大なる活性度を有する觸媒を得んには次の3因子

を考慮すべきである。(1) 反應物質を觸媒に結合せしめ得る2つのアミノ基の存在、(2) この2つのアミノ基の適當なる距離、(3) 活性化障壁を低下する可逆的酸化可能の原子団の存在。(松山)

記 事

第三回理事会 十月二十九日(金)午後一時京大總長室に於て開催、濱田理事長、松井前理事長、堀場常務理事、大幸、喜多各理事、中村、入江、窪川各監事、守谷主事、戸川書記出席報告並に次の事項協議せり。

I. 報 告

九月一日歩兵第九聯隊出兵に際し村上中佐より堀場常務理事創製にかゝる銀膠質殺菌劑四十萬粒製作の依頼を受けたるにつき本會に於て献納し、それに對し九月五日第九聯隊長陸軍歩兵大佐片桐護郎殿より感謝狀授與さる。

II. 議 事

1. 特許權實施の件
2. 事業資金募集の件
3. 新會長推戴の件

松井會長今回會長辭退されたるに付會長の御推薦により大幸理事を會長に推戴し、松井前會長を理事及名譽會員に推薦することに決す。

第 十 一 卷 正 誤 表

頁	行	誤	正
1	2(脚註)	(1936)	(1934)
289	41(左)	Y. Fujita.	Y. Fujioka.
297	16(右)	M. Akamatsu.	M. Yokoyama and M. Akamatsu.
362	5	$\frac{\partial v_0}{\partial a} = k \frac{b(1-2a+\beta b)}{(1+aa+\beta b)^3}$	$\frac{\partial v_0}{\partial a} = k \frac{(1+aa+\beta b)}{(1+aa+\beta b)^3}$
362	14	$\frac{dx}{dt} = v = k \frac{aP_E}{(1+aa+\beta b)^2}$	$\frac{dx}{dt} = v = k \frac{aP_E}{(1+aa+\beta P_E)^2}$
362	16	$\frac{dv}{dP_E} = k \frac{a(1+aa-\beta P_E)}{(1+aa+\beta b)^3}$	$\frac{dv}{dP_E} = k \frac{a(1+aa-\beta P_E)}{(1+aa+\beta P_E)^3}$
362	18	$P_E = \frac{1+aa}{\beta}$	$P_E = \frac{1+aa}{\beta}$
362	20	$\frac{dx}{dt} = v = k \frac{bq_H}{(1+aa+\beta b)^2}$	$\frac{dx}{dt} = v = k \frac{bP_H}{(1+aP_H+\beta b)^2}$
362	22	$\frac{dv}{dP_H} = k \frac{b(1-aP_H+\beta b)}{(1+aa+\beta b)^3}$	$\frac{dv}{dP_H} = k \frac{b(1-aP_H+\beta b)}{(1+aP_H+\beta b)^3}$